

# スペアタイヤ落下

## トラック所有の会社特定

### 母娘死亡事故で

国土交通省は、定期点検の際に

スペアタイヤの取り付けに問題がないかなどの  
確認を義務付ける

2018/4/18(水) 15:39

岡山県の中国自動車道で昨年10月、落下物のスペアタイヤで、横転した大型トレーラーに巻き込まれ、母娘2人が死亡した事故で、県警は18日、スペアタイヤを落とした車両は運送会社「M社」の大型トラックで、落下位置は走行車線だったと明らかにした。

県警は引き続き、落下原因の特定を進める。事故は同日、発生から半年を迎えた。

県警交通指導課は、同社の営業所を自動車運転処罰法違反（過失致死傷）容疑で家宅捜索するなどして捜査。

同課によると、後続車のドライブレコーダーや目撃情報で判明した。

スペアタイヤ（直径約1メートル、重さ約100キロ）は、トラックが走行車線を走行中に落下。その後、母娘の車が乗り上げた弾みで追越し車線に移動し、そこにトレーラーが乗り上げて横転、路肩付近に避難していた母娘を巻き込んだという。

スペアタイヤは車両後部の底に鉄製の装置で固定。現場周辺には固定装置の部品も散乱し、全体的にさびていたが、落下との因果関係は分かっていない。

この事故を受け、国土交通省は大型車の使用者に対し、定期点検の際にスペアタイヤの取り付けに問題がないかなどの確認を義務付けるため、道路運送車両法に基づく「自動車点検基準」を改正し、10月にも運用を始める方針を決めている。

## スーパーの駐車場から左折で出ようとして

### センターライン超える

対向の路線バスに衝突、信号待ちの乗用車に追突、ごみ収集車にも玉突き

2018/4/18(水) 10:17

17日午前10時45分ごろ、千葉県の市道で、スーパー駐車場から左折しようとした会社員女性（52）の運転する乗用車がセンターラインを超え、対向してきた路線バスの後方右側面に衝突した。乗用車は前方で信号待ちしていた軽乗用車にも追突し、対向車線に押し出された軽乗用車は路線バスの後方から来たごみ収集車にも衝突。計4台が絡む多重衝突事故となった。警察によると、路線バスには約30人の乗客がいたがけが人はおらず、後続のバスに乗り換えた。市道は片側1車線。